

株主メモ

Stockholder Memo

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月に開催

基準日

定時株主総会 3月31日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒541-8502
(連絡先) 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL (通話料無料) 0120 (094) 777

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページ <https://www.kfc-net.co.jp/>

上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場

単元株式数 100株

単元未満株式の買取請求受付場所 証券会社等ご利用の株主様はお取引の証券会社等へお申し出ください。
証券会社等ご利用でない株主様は左記特別口座管理機関にお申し出ください。

ホームページのご案内

Website



<https://www.kfc-net.co.jp/>

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向を紹介しております。当社をよりご理解いただくためにも是非アクセスしてください。

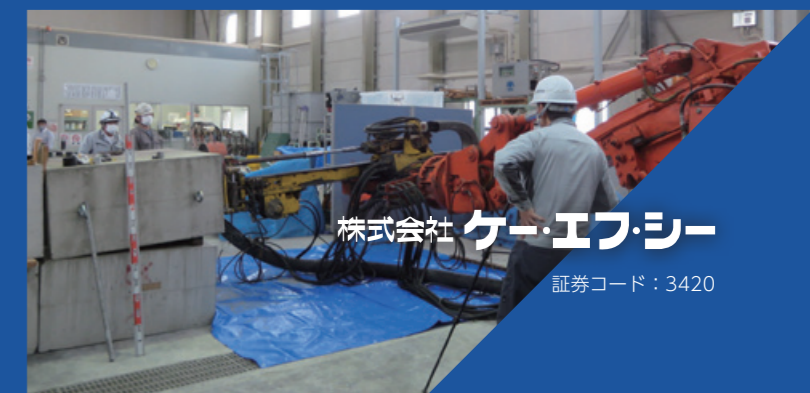
株式会社 **ケー・エフ・シー**

KFC REPORT

時代のニーズに対応する、先進の技術を追いかけて

第58期年次報告書

2021年4月1日～2022年3月31日



株式会社 **ケー・エフ・シー**

証券コード：3420

株主の皆様には、 平素より格別のご高配を賜り、 厚く御礼申しあげます。

当社は2022年3月31日をもって第58期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の事業年度を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに決算の内容についてご報告申しあげます。



代表取締役社長 高田 俊太

企業理念

- 一. 私たちは信用を重んじ、社会の発展と豊かな環境づくりに貢献します。
- 一. 私たちは時代のニーズに対応し、常に変貌する企業を目指します。
- 一. 私たちは社員相互の信頼のもと、人材を育成し、希望に満ちた企業を創造します。
- 一. 私たちは常に学ぶ姿勢を持ち、自己と企業の進歩、改善を目指します。

第58期の業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が長期間にわたって発出されるなど、厳しい状況が続きました。2021年9月末に緊急事態宣言が解除され経済活動が正常化に向かう中、経済を取り巻く環境は徐々に回復しつつありますが、原材料価格の上昇や電子部品の供給不足など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内においては各種政策の効果や海外経済の改善もあり、一部に景気が持ち直す動きがみられるものの、経済、物価、金融情勢への影響を注視する必要があります。

当社グループの関連する建設業界におきましては、建設資材価格の上昇や慢性的な人員不足の問題が継続する中、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、需要先のニーズを的確に捉えた技術提案型営業を推進することで、公共事業を中心とした政府建設投資の需要に確実に応えるべく、商品の拡販と建設工事の受注に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、259億57百万円(前期比6.6%減)で、その内訳は、商品売上高が98億77百万円(前期比4.0%減)、完成工事高は160億79百万円(前期比8.1%減)となりました。

今後の見通しについて

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の両立を進める動

きが本格化するものと見込まれ、わが国経済を取り巻く環境は回復基調となるものの、物価や金利の上昇、地政学リスクなどに、注視が必要な状況にあります。

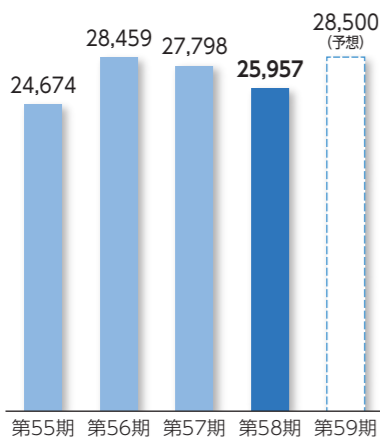
一方、建設業界においても、建設資材価格の上昇や人材不足、若年労働者の確保や働き方改革による労働環境の多様化など、多くの課題を抱えている状況にあり、事業環境をめぐる見通しは今なお不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は「ケー・エフ・シーグループ中期経営計画(2021~2023年度)」に鋭意取り組んでおり、「収益力の向上」「技術・開発力の強化」「働き方改革」「経営基盤の再構築」の基本戦略のもと、持続的成長を可能にする強固な経営基盤を構築し、豊かな社会資本・インフラ整備に貢献する専門家集団として、いかなる市場環境においてもステークホルダーの皆様のご期待に応えることができる企業力を築いてまいります。

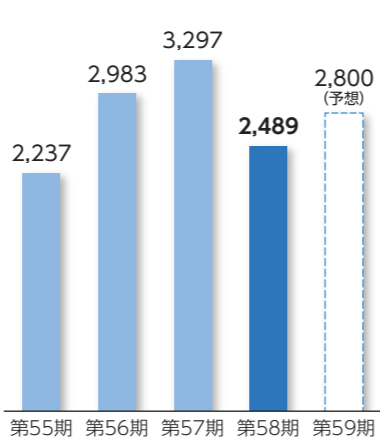
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

売上高の減少や、人件費をはじめとした販売費及び一般管理費の増加などにより、減収減益となりました。

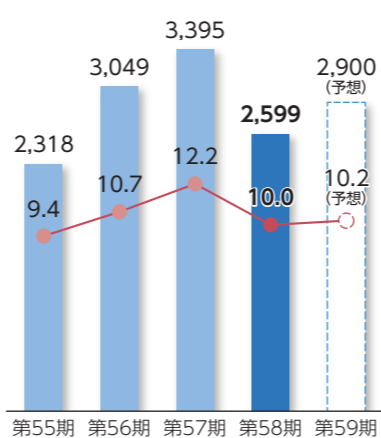
売上高 (単位：百万円)



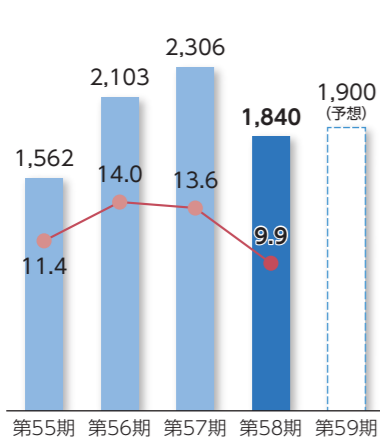
営業利益 (単位：百万円)



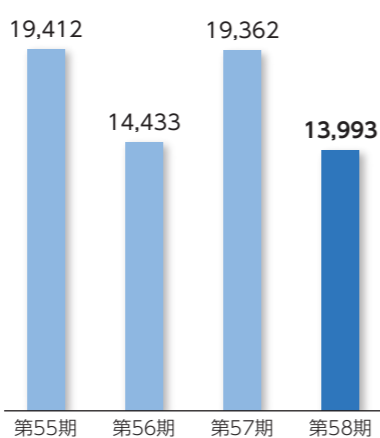
経常利益 (単位：百万円) / 経常利益率 (単位：%)



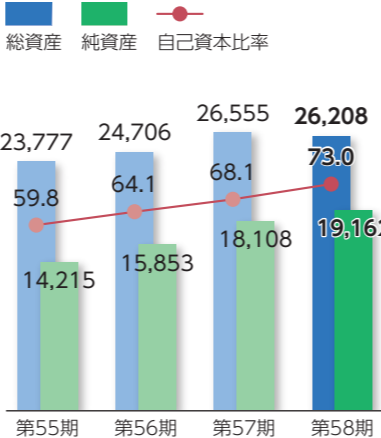
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位：百万円) / ROE (単位：%)



受注工事高 (単位：百万円)



総資産 / 純資産 (単位：百万円) / 自己資本比率 (単位：%)



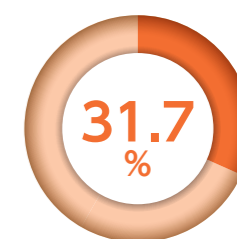
事業部門別概況

ファスナー事業



売上高 **82億23百万円** 前期比 **9.3%減**

付加価値の高い金属系あと施工アンカーをはじめとする建設資材販売は前年と同水準で推移いたしましたが、土木耐震工事の進捗遅れなどの影響により、完成工事高が減少いたしました。

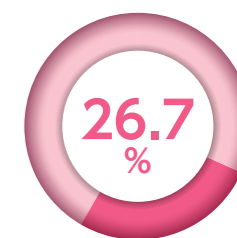


土木資材事業



売上高 **69億31百万円** 前期比 **7.6%増**

西日本地区において大型案件の終了や工事着工の遅れなどの影響でトンネル掘削用資材の販売数量が減少しましたが、北海道地区や中部地区において当社の独自技術を活用したトンネル掘削補助工法の資材販売が増加いたしました。

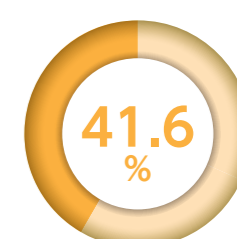


建設事業



売上高 **108億2百万円** 前期比 **12.1%減**

当社の得意とするトンネル補修・補強工事や橋梁補修工事で大型物件を2件受注したほか、環境対策工事において大型元請物件が2件竣工いたしました。北陸自動車道の設備工事に付随した「フェイルセーフシステム (取付物落下防止対策商品)」の販売も寄与いたしましたが、大型工物件が一巡したことなどにより、売上高が減少いたしました。



いかなる市場環境においても影響されない真の企業力を目指して

～ 業界に先駆けて高付加価値の製品・工法を開発し、持続的成長を可能にする企業グループへ ～

高度な社会インフラ整備の実現に向け、常に「オンリーワン」技術にチャレンジし、豊かな社会資本・インフラ整備に貢献する専門家集団としての責務を果たしてまいります。

基本戦略

- 1) 収益力の向上
- 2) 技術・開発力の強化
- 3) 働き方改革
- 4) 経営基盤の再構築

重点施策

■ 新規事業の創出

- 顧客・現場ニーズ吸い上げ簡素化
- 部門間連携の強化
- 「開発営業部」の新設
- 研究開発投資の増額

■ 研究・技術開発

- 研究・技術開発テーマ
- 「熟練作業不足を補う」・「省人化&ICT」
 - 「環境」

■ 知的財産

- オープン・クローズ戦略による知財の循環

■ 業務の効率化

- 新基幹システム
- 社内インフラ整備
- 残業時間削減対策
- 戦略的採用の強化
- 健康経営の推進

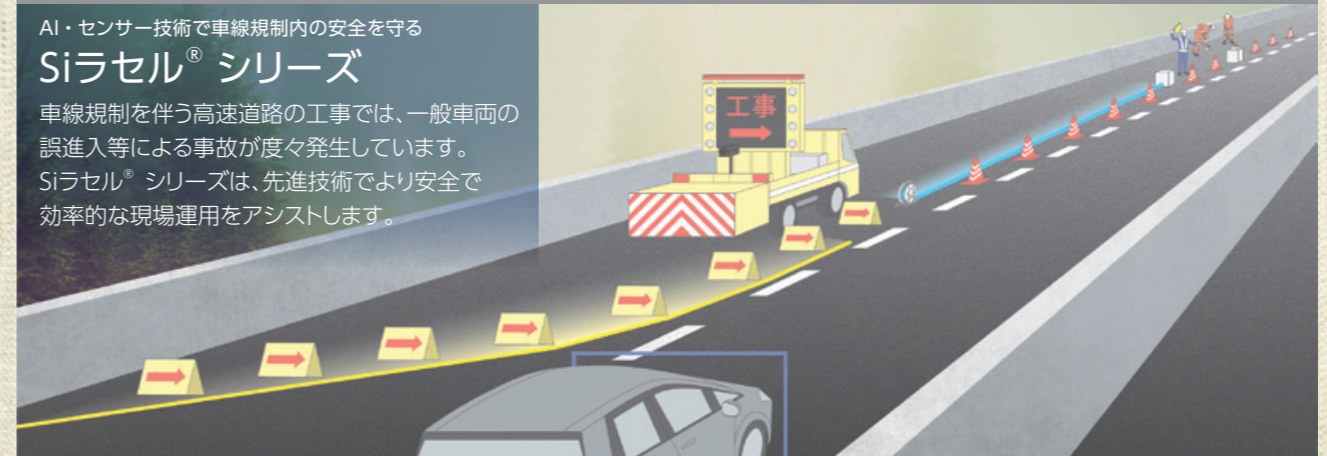
■ 経営基盤の再構築

- 盤石な組織体系づくり
- 人材の確保・育成・活用
- 投資戦略
(研究開発投資/M&A・アライアンス)

AI・センサー技術で車線規制内の安全を守る

Siラセル® シリーズ

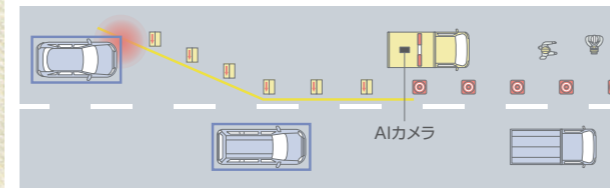
車線規制を伴う高速道路の工事では、一般車両の誤進入等による事故が度々発生しています。Siラセル® シリーズは、先進技術でより安全で効率的な現場運用をアシストします。



高速道路規制のテーパ部に

Siラセル® AI監視

規制開始部(テーパ部)をAIカメラで監視します。車両の進入や矢印板への接触事故を検知すると、管理者へリアルタイムに通知。迅速な判断・対応に繋がり、二次被害を軽減します。

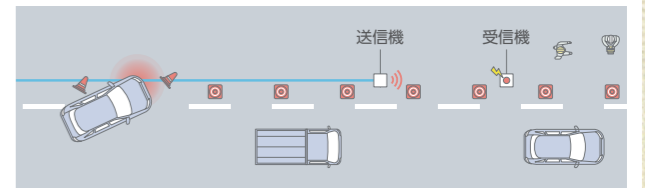


AIカメラ

高速道路規制の平行部に

Siラセル® 進入検知

ラバーコーンを並べる規制の平行部に沿って、光ファイバケーブルを敷設。車両の進入を警報で知らせます。工事従業者の退避時間確保につながり、重大な事故を防ぎます。



送信機(センサー)

受信機(警報機)

危険箇所の監視



クラウド配信・録画



異常通知



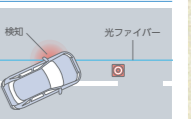
簡単設置・設定不要



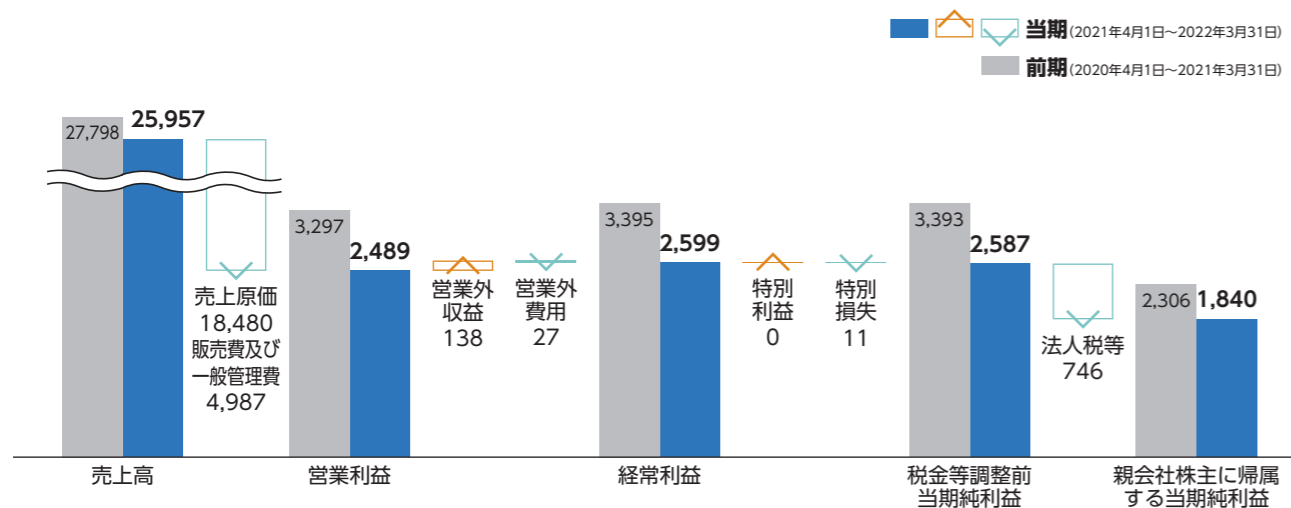
リアルタイム警報



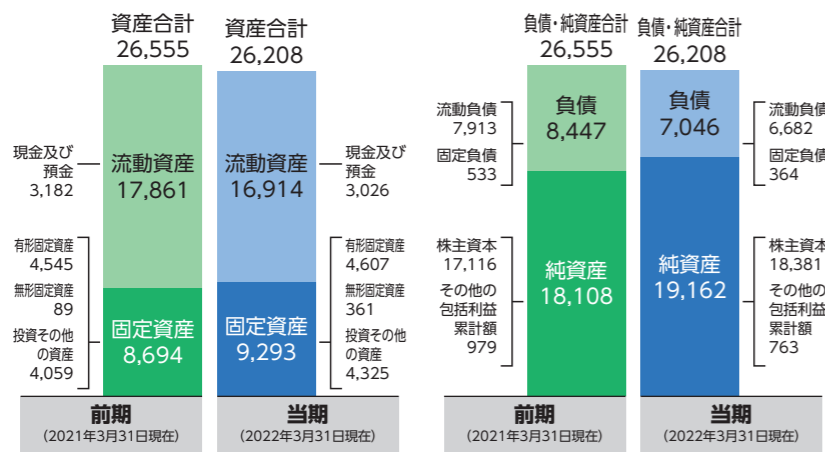
ライン検知



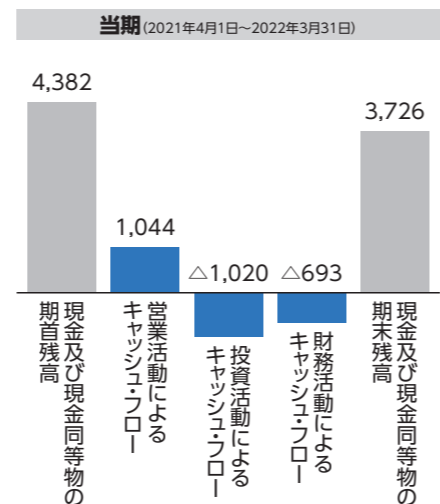
連結損益計算書 (単位: 百万円)



連結貸借対照表 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



(2022年3月31日現在)

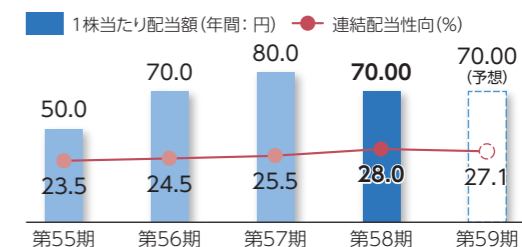
発行可能株式総数 18,970,000株
 発行済株式の総数 7,378,050株
 株主数 1,762名
 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
高田信子	784,000	10.65
積水樹脂株式会社	777,000	10.56
ケー・エフ・シー取引先持株会	405,100	5.50
高田俊太	397,600	5.40
株式会社三菱UFJ銀行	325,000	4.42
デンカ株式会社	200,000	2.72
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	176,900	2.40
株式会社中外精工	175,000	2.38
エムエスティ保険サービス株式会社	150,000	2.04
生田明男	126,000	1.71

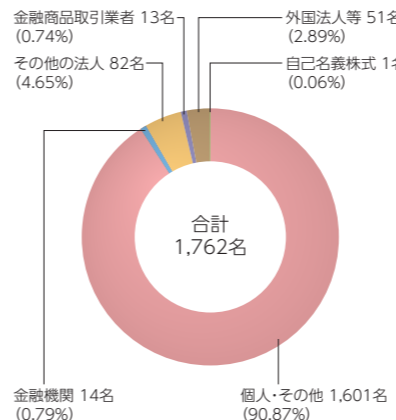
(注)持株比率は、自己株式(18,512株)を控除して算出しております。

配当方針

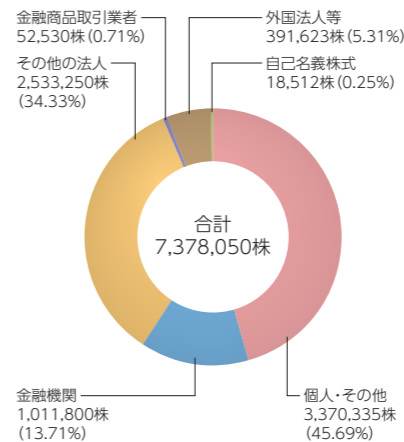
当社の配当政策は、安定的な利益還元継続を重視することを基本としておりますが、当該期の業績や今後の資金需要、財務状態も総合的に勘案し、株主各位のご期待にお応えしていきたいと考えております。また、内部留保金につきましては、財務体質の強化を図るとともに、経営環境の変化に柔軟に対応するための設備投資や研究開発、新規事業の拡大などに有効活用してまいります。



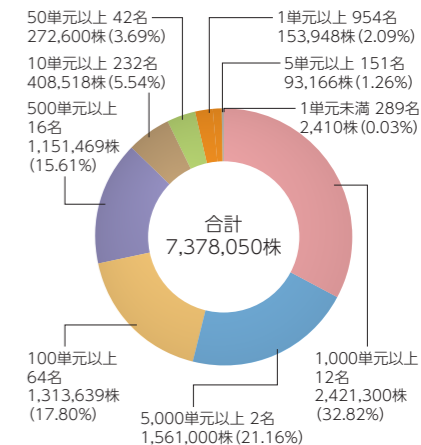
所有者別分布状況(株主数)



所有者別分布状況(株式数)



所有株数別株式分布状況

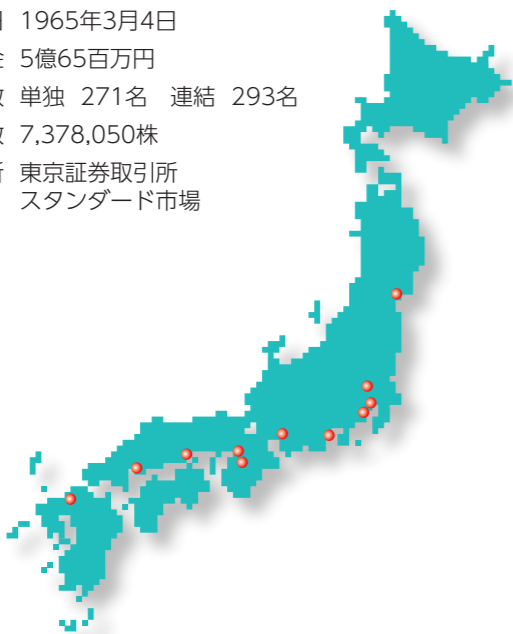


会社の概況

Corporate Profile

(2022年3月31日現在)

商号 株式会社 ケー・エフ・シー
 設立年月日 1965年3月4日
 資本金 5億65百万円
 従業員数 単独 271名 連結 293名
 発行済株式の総数 7,378,050株
 上場証券取引所 東京証券取引所
 スタンダード市場



●本店・本社

本店 〒530-0047
 大阪市北区西天満3丁目2番17号 TEL(06)6363-4188

東京本社 〒105-0011
 東京都港区芝公園2丁目4番1号 TEL(03)6402-8250
 芝パークビルB館11階

●流通センター

大阪流通センター 〒584-0023
 大阪府富田林市若松町東3丁目4番2号 TEL(0721)24-7511

関東流通センター 〒347-0010
 埼玉県加須市大桑1丁目19番地 TEL(0480)76-0091

●技術研究所

〒347-0010
 埼玉県加須市大桑1丁目19番地 TEL(0480)76-0095
 〒584-0023
 大阪府富田林市若松町東3丁目4番2号 TEL(0721)24-7511

●営業所

東北営業所 〒981-3133
 仙台市泉区泉中央4丁目15番1号 TEL(022)772-3981

横浜営業所 〒224-0061
 横浜市都筑区大丸8番4号 TEL(045)949-5801
 都筑岩澤ビル

静岡営業所 〒422-8043
 静岡市駿河区中田本町45番16号 TEL(054)654-5670

名古屋ファスナー部 〒461-0048
 名古屋市東区矢田南5丁目1番11号 TEL(052)711-8088

岡山営業所 〒700-0975
 岡山市北区今7丁目7番13号 TEL(086)243-5722

中国営業所 〒732-0811
 広島市南区段原4丁目5番2号 TEL(082)568-4750

福岡営業所 〒812-0016
 福岡市博多区博多駅南6丁目16番10号 第一小笠原ビル TEL(092)461-2735

役員

(2022年6月17日現在)

取締役及び監査役

代表取締役社長(兼)執行役員社長	高田俊太
常務取締役(兼)常務執行役員	堀口康郎
常務取締役(兼)常務執行役員	羽馬徹
取締役(兼)執行役員	大平康史
取締役(兼)執行役員	石原淳
取締役(兼)執行役員	稲葉朗
取締役(兼)執行役員	石田裕宗
社外取締役	佐野裕
社外取締役	中桐万里子
常勤監査役	山口義弘
社外監査役	五島洋彦
社外監査役	渡部靖彦

執行役員

執行役員	村井良和
執行役員	千足裕一
執行役員	田村知幸
執行役員	新井吉幸
執行役員	菅原崇秀

●連結子会社(国内)

アールシーアイ株式会社
 大阪本店 〒530-0047
 大阪市北区西天満3丁目2番17号 TEL(06)6363-4362

東京本社 〒105-0011
 東京都港区芝公園2丁目4番1号 TEL(03)6402-7570
 芝パークビルB館11階

●連結子会社(海外)

唐山日翔建材科技有限公司
 本社工場 中華人民共和国河北省唐山市

Trust Safety Functionality

信頼
安全
機能性



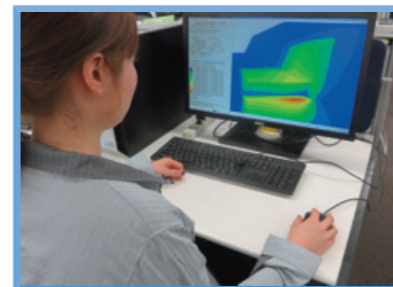
時代のニーズに先進技術で応え続けて半世紀 建設用アンカーのパイオニア

建築土木用アンカー製品からトンネル内装工事・サポートまで。

当社では、埼玉県加須市に全事業部門を横断的に統一した技術部門である技術研究所を設けています。それぞれの事業部からフィードバックされる情報、アイデアなどをもとに、新たな製品、技術、工法を開発するとともに、既存技術の異業種、他分野への適応などについても研究しています。

現場からのフィードバックにより、さらに安全性と機能性を追求した新たな製品開発に取り組んでおります。

設計・技術開発



現場施工

